

【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号	D-20-1
事業名	鏡石町復興まちづくり事業計画策定事業
事業費	総額（執行額）：19,998千円（国費：14,998千円）
事業期間	平成23年度～平成24年度
事業目的・事業地区	<p>東日本大震災において甚大な被害を受けた鏡石町の被災状況を的確に整理し、町民が安心して末永く生活できる地域づくりを進めるため、防災・減災の観点からのまちづくり事業計画を策定し、計画に位置付けられた各種プロジェクト等の事業化に係る調査及び検討を図る。</p> <p>対象エリアにおいては、JR鏡石駅周辺地区約160ha（駅中を心に半径1.5キロに7割の人口が集中）を基本とする被災地域とする。</p>
事業結果	<p>対象エリアの被災状況の検証等が進むとともに、復興のシンボルとなるJR鏡石駅周辺地域の早期復興、被災住民の生活再建、避難所等の防災性・安全性の向上図った。</p> <p>(1) 被災住民の生活再建</p> <ul style="list-style-type: none"> ①災害公営住宅の整備 ②岡ノ内地区滑動崩落宅地の整備 <p>(2) 東西連携の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ①鏡石町立第一小学校の防災機能強化（駅西側の防災拠点） ②防災福祉センターの整備検討（駅東側の防災拠点） ③自由通路の耐震性強化（本町玄関（駅）の整備） ④町道鏡田58号線踏切の拡幅等（東西横断の強化：7カ所） <p>(3) 避難所等の防災性・安全性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ①三区コミュニティセンターの再建（地域コミュニティ活動の回復） ②主要避難所の防災機能強化（各地区集会所等避難所の整備、耐震化） ③飲料水兼用耐震性貯水槽の整備（災害時の給水体制の整備） ④鏡石駅周辺の整備検討（主要拠点の整備） ⑤鳥見山公園の再整備（運動環境の整備）
事業の実績に関する評価	<p>① 事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価</p> <p>復興事業を推進するにあたっては、震災による課題を整理し、取り組むべき事項の明確化と集中復興期間に一定の目的を立てるべき事業を抽出して復興まちづくり計画に位置付け、より効果的で災害に強いまちづくりを構築できる事業の検討を行うことができた。</p> <p>本計画に沿って、復興のシンボルとなるJR鏡石駅周辺地域の早期復興、被災住民の生活再建、避難所等の防災性・安全性の向上が図ることができ、町民の防災意識の高揚に繋がったことは、事業の有効性が高かったものとする。</p>

② コストに関する調査・分析・評価

独立行政法人都市再生機構と契約締結しており、独立行政法人は一般的なコンサルタントと違い、諸経費率が低く設定されており、時価に比して低価格での契約となることから、経済的に優位なものとする。

③ 事業手法に関する調査・分析・評価

本計画については、「鏡石町第5次総合計画（平成24年3月）」に定めている事業のうち、「鏡石町震災復興計画（平成24年3月）」に定めている災害復旧・復興関連の主要事業の中で、本町の復旧・復興を推進する集中復興期間に集中的に実施するため、各課ヒアリング及び町内調整会議において策定していることから、事業手法は適切なものとする。

事業担当部局

総務課 電話番号：0248-62-2111